

福 井 県 医 師 会

だより

第659号 平成28年(2016)5月



ミネザクラ咲く

福井市 石黒 信彦

表紙写真説明：ミネザクラ咲く

福井市 石黒 信彦

白山にも遅い春がやってきた。別当出会を登り口とする砂防新道にミネザクラが咲く。何年も前からトライしているが、日曜登山家の私にとって花の満開・好天候になかなか巡り合えなかった。しかし、やっと好機が訪れた。雲が切れ遠くに不動滝も姿を現した。

醫 縫 録

地域医師会から禁煙対策に取り組もう

武生医師会長 山 本 嘉 治



元日本医師会会長の坪井栄孝氏が2月9日死去された。坪井氏は日本医師会会長を4期8年務め、2000年には日本人で2人目の世界医師会長に就任した。坪井氏は国立がんセンター時代に日本の肺癌診療の創成期を築いた一人で、特に肺癌の細胞診の技術を独自に開発した功績は大きい。出身地の福井県は葉たばこの産地として有名であるが、その地で早くから禁煙活動を展開していた。坪井氏は日本禁煙学会の名誉会長でもあった。

ここで喫煙と病気の関係をおさらいしよう。喫煙と悪性腫瘍は口腔、咽頭、喉頭、鼻腔、副鼻腔、食道、胃、結腸、直腸、肝、膵、肺、子宮頸部、卵巣、膀胱、腎、尿管の癌、骨髄性白血病において強いエビデンスが示されている。肺癌においては受動喫煙との関係も確立され、小児の肝芽腫、白血病（急性リンパ球性白血病）は親の喫煙によってリスクが高まる。以下各疾患領域別に悪性腫瘍以外の因果関係が明らかな病気、病態を示そう。

循環器：虚血性心疾患、グラフト閉塞、腹部大動脈瘤、末梢動脈疾患、バージャー病

脳神経疾患：脳梗塞、クモ膜下出血、脳卒中（受動喫煙）、アルツハイマー型認知症

呼吸器：COPD（慢性閉塞性肺疾患）、喫煙関連間質性肺疾患、気管支喘息、結核、呼吸器感染症、自然気胸

糖尿病：糖尿病発症、インスリン抵抗性の増大

消化器：GERD（胃食道逆流症）、消化性潰瘍、炎症性腸疾患

肝・膵疾患：アルコール性肝疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患、慢性膵炎

腎臓：CKD（慢性腎臓病）

皮膚：スモーカーズフェース

子供への影響：乳幼児突然死症候群、将来のメタボリックシンドローム発症

その他：歯周病、月経異常、不妊症、胎児の奇形
以上のように能動喫煙、受動喫煙は広範囲の疾患、病態に悪影響を与える。

現在非感染性疾患（NCD、noncommunicable diseases）との概念で包括される疾病により、世界で毎年3600万人が死亡している。その80%は低～中所得国であるが、残りの高所得国（先進国）においてNCDの最大の原因は喫煙によるものである。日本人男性の寿命を短縮させる最大の原因は喫煙であり、その寄与は2位の高血圧の2倍で、高血圧、糖尿病、肥満、高LDL血症すべてを合わせても喫煙の寄与には及ばない。禁煙を進めることが日本人男性の健康寿命を伸ばすための最優先課題であることが証明されているのである。

日本はタバコ規制枠組み条約（FCTC）の19番目の批准国であり、条約は2005年に発効している。FCTCの主な内容は喫煙による健康被害の啓蒙、タバコの規制、受動喫煙の防止、タバコ産業に対する規制、タバコパッケージの規制などからなる。締結国はこの条約に従って国内法を整備する義務がある。しかし、日本の現状は大変寂しい。日本ではタバコに対する課税の収入が国、地方自治体の財源の主要な部分を占めてきた歴史的背景があり、たばこ事業法は国内のタバコ産業、葉タバコ農家を保護育成する法律であるが、財務省の管轄である。またタバコ産業またはタバコ産業より利益を得ている団体などの圧力がタバコの規制、受動喫煙対策に障害となってきた。またこれらの企業・団体の利益を守ろうとするタバコ族議員の存在がある。

2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開かれる。IOCはWHOと協定を結びタバコのないオリンピックを開催することを宣言している。事実近年のオリンピック開催都市にはすべて罰則付きの受動喫煙防止の法律が制定されている。東京においても受動喫煙防止条例が必要であるが、制定への道のりは厳しい。

最後に喫煙対策における地域医師会の役割を考えてみたい。医師は患者より喫煙の健康への害についてより知っていると考えられるが、いまだに喫煙を続ける医師が少なからずいることも事実である。したがって、禁煙の推進を個人の医師に任せておくだけでは限界がある。まず地域医師会が会員の禁煙と禁煙の普及にとりくむ宣言を発表すべきである。さらに公共施設、宿泊施設、飲食施設、大規模商業施設、コンビニなどの多くの住民が集まる場所での施設内にとどまらず敷地内の完全禁煙による受動喫煙対策を地域の自治体に提言することが必要である。また住民への喫煙による健康被害ならびに禁煙治療について啓蒙活動を日常的に行うべきである。学校などでの喫煙に対する教育に協力することも必要である。また医師会活動にJTから一切の経済的支援をうけるべきではなく、JTがスポンサーとなっているスポーツ、文化活動に参加、支援をしてはならない。また医師連盟はタバコ対策、受動喫煙対策に取り組まない議員、首長立候補者を推薦、支援すべきでない。

毎年5月31日は世界禁煙デーである。